

ビジターセンター調べによる大台ヶ原の利用動向

大台ヶ原ビジターセンター調べによる正午時点における駐車台数をもとに、ドライブウェイ開通期間の利用者数を推計¹、大台ヶ原の利用実態の把握を行った。なお、平成 20 年度の調査期間は、4 月 23 日～10 月 31 日である。

1. 利用者数の推移

平成 20 年度の 10 月 31 日までの大台ヶ原の利用者総数は、127,888 人であった。10 月末日までの昨年及び一昨年の利用者総数と比較すると、平成 19 年度が 163,244 人、18 年度が 170,229 人となっており、利用者数は減少傾向にあるといえる。

なお、過去 5 年間で平成 16 年度の利用者が最も少ないが、これは、台風の影響及びそれによる通行規制の影響があったと考えられる。また、平成 19 年度については平成 19 年 1 月の崩落事故のため、4 月 20 日まで国道 169 号が通行止めとなり、その後、9 月の全面開通まで、片側交互通行の規制が行われていた。

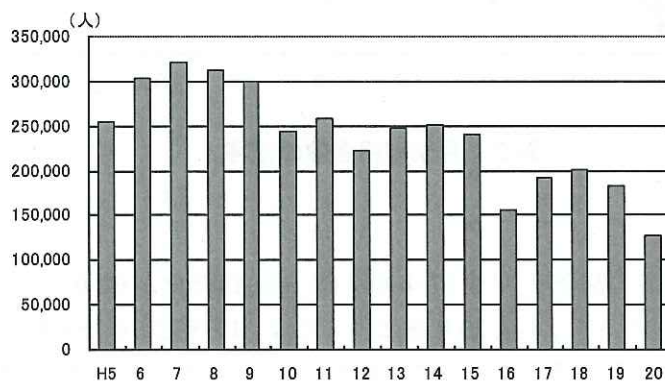


図 1 大台ヶ原の利用者数の推移

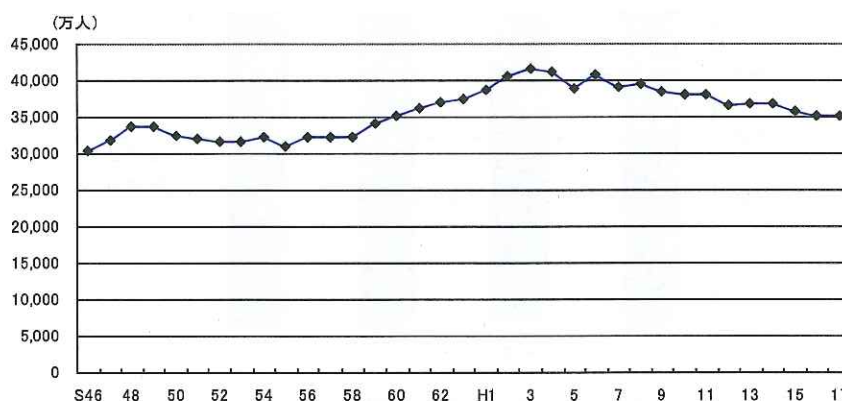


図 2 国立公園（全国）利用者数の推移

出典：環境省資料

¹ 利用者数は、正午時点の駐車台数を基に、以下の式で推計した。

$$\text{利用者数} = \text{観光バス台数} \times 25 \text{ 人} + \text{自動車台数} \times 3 \text{ 人} \times 3 \text{ 回転} + \text{二輪車台数} \times 1.5 \text{ 人}$$

2. 月別利用者数

過去5年間について、月別利用者数の推移をみると、平成19年を除いて、10月が最も利用者数が多く、次いで5月、8月、11月の利用者が多くなっている。平成20年度については、各月とも利用者数は平年並みか平年を下回っているが、10月は51,064人と、平成18年度に次ぐ利用者数となっており、10月への利用者の集中が顕著であった。

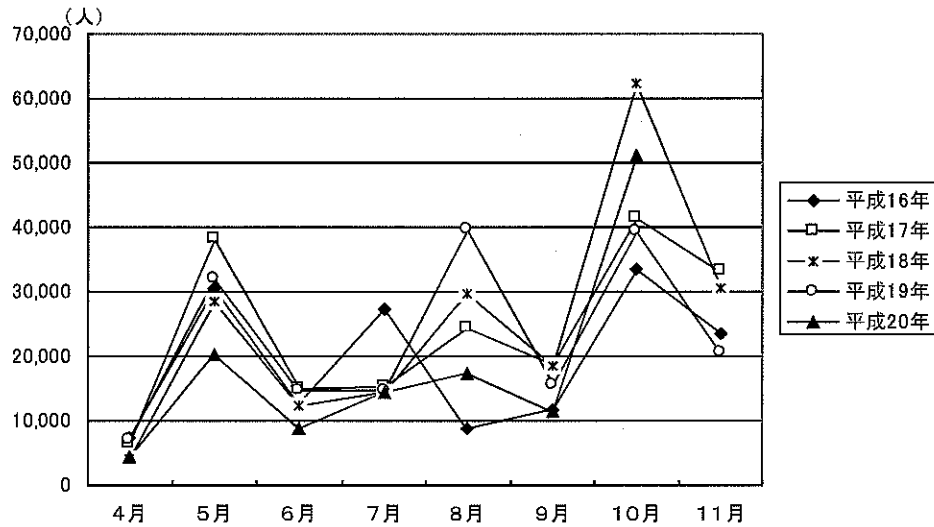


図3 月別利用者数の推移

3. 曜日別利用者数

休日(土日祝日)の利用者の割合は、平成17年度が62.5%、18年度が62.0%、19年度が56.3%、20年度が57.9%と推移している。平成20年度については、19年度とほぼ同程度の割合となっており、平成17、18年度と比較すると、少しずつではあるが、平日への利用の分散化がみられる。

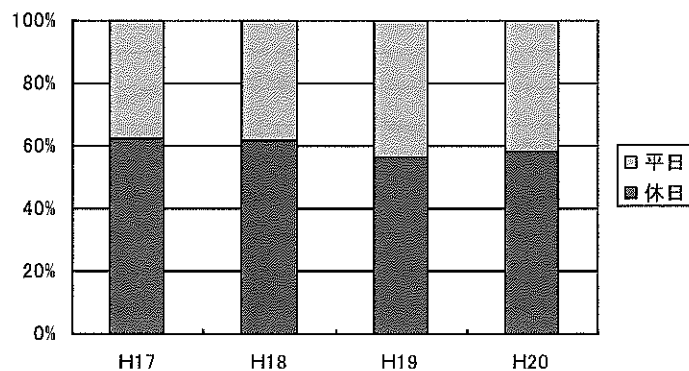


図4 曜日別利用者数割合の推移

4. 日別利用者数

日別の利用傾向をみると、例年と同様、平日よりも土日祝日の利用者数が多くなっているが、8月のお盆前後や紅葉シーズンの10月下旬に関しては平日の利用者数も比較的多くなっている。

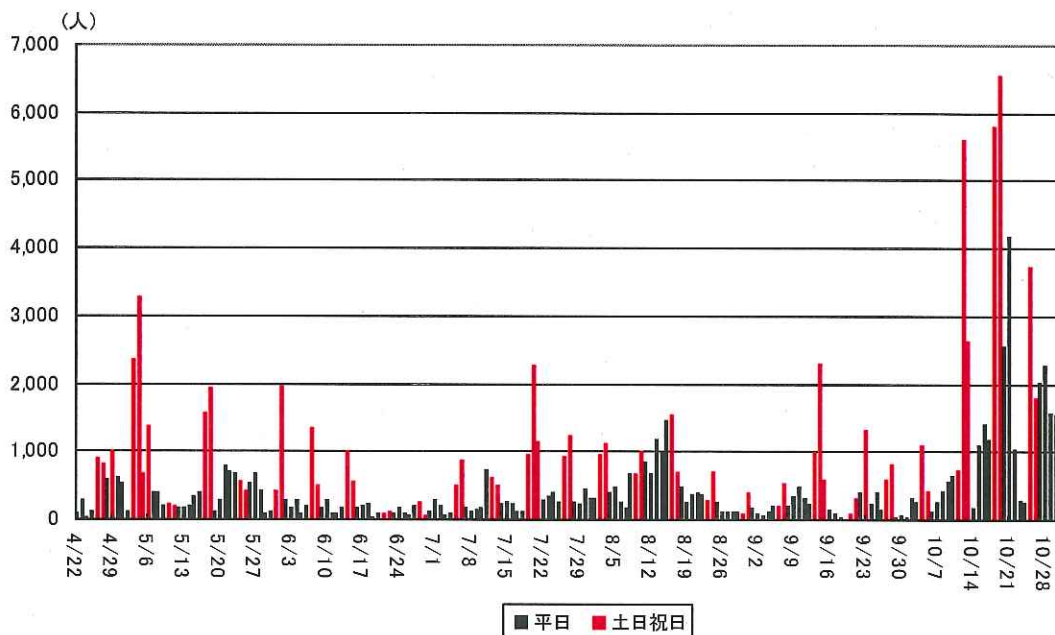


図5 平成20年度日別利用者数

5. 車両駐車台数

平成20年10月末日までの正午時点における駐車台数の合計は、観光バス 383 台、乗用車 12,873 台、二輪車 1,637 台であった。過去5年間の駐車台数の推移をみると、観光バス、乗用車は減少傾向にあるが、二輪車については、平成19年度の台数が最も多くなっており、増加傾向がうかがえる。

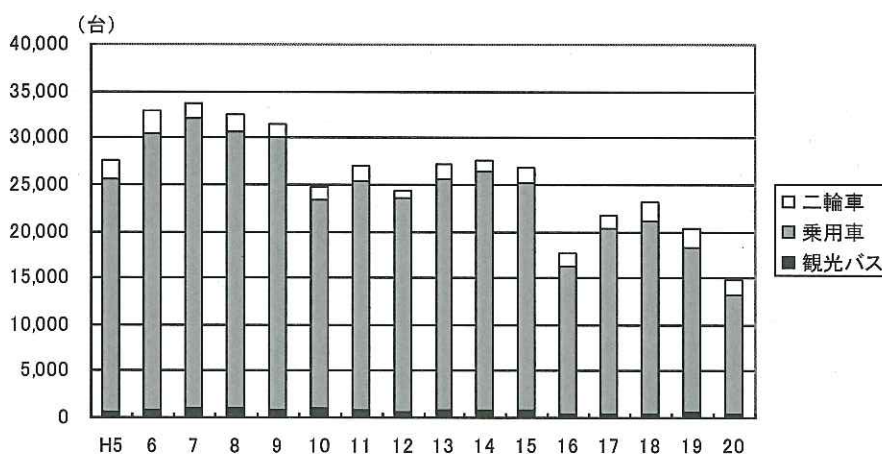


図6 車両種類別にみた正午における駐車台数の推移